

公益社団法人日本地震工学会 第70回理事会議事録

A.日時：2024年6月17日（月） 16時00分～19時50分

B.場所：建築会館およびZOOMによるオンライン会議

C.出席者：（会長）高田毅士、（副会長）中村いずみ、年縄 巧、大堀道広

（担当理事）高橋郁夫、本多 剛、前川 晃、渡邊和明、隈本邦彦、上田 遼、皆川佳祐、阿部慶太、向井洋一、中嶋唯貴、丸山喜久、高瀬裕也（欠席）、上田恭平、吉見雅行

（監事）永野正行、室野剛隆

オブザーバ出席：戸田薫子事務局長

※下線はオンラインでの出席者

※渡邊理事の「邊」の字は一点しんのように読み替えてください

D.議題および提出資料：

議題

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 1) 役員の自己紹介（全員） | 資料 70-01 |
| 2) 今年度理事会体制と役員の分掌、関係する外部委員会について（高橋理事） | 資料 70-02 |
| 3) 今年度の理事会の年間予定（高橋理事） | 資料 70-03 |

報告事項

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| 1) 第69回理事会議事録（案）確認（高橋理事） | 資料 70-04 |
| 2) 第12回社員総会議事録（案）確認（高橋理事） | 資料 70-05 |
| 3) 臨時理事会議事録（案）確認（高橋理事） | 資料 70-06 |
| 4) 令和6年度事業計画（高橋理事） | 資料 70-07 |
| 5) 令和6年度予算（前川理事） | 資料 70-08 |
| 6) 会務報告（高橋理事） | 資料 70-09 |
| 7) 会計報告（前川理事） | 資料 70-10 |
| 8) 総務部会からの報告（高橋理事） | 資料 70-11 |
| 9) 広報部会からの報告（隈本理事） | （欠番）資料 70-12 |
| 10) 情報コミュニケーション委員会からの報告（上田(遼)理事） | 資料 70-13 |
| 11) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事） | 資料 70-14 |
| 12) 国際委員会からの報告（阿部理事） | 資料 70-15 |
| 13) 地震災害対応委員会からの報告（吉見理事） | 資料 70-16 |
| 14) 論文集編集委員会からの報告（向井理事） | 資料 70-17 |
| 15) 事業企画委員会（企画）からの報告（代理：上田恭平理事） | 資料 70-18 |
| 16) 2024年度大会に関する報告（中嶋理事） | 資料 70-19 |
| 17) 将来構想委員会からの報告（大堀副会長） | 資料 70-20 |
| 18) 志賀原子力発電所における強震データの頒布について（高橋理事） | 資料 70-21 |

議案

- | | |
|--------------------|----------|
| 第1号 入退会者（本多理事） | 資料 70-22 |
| 第2号 委員会委員の委嘱（高橋理事） | 資料 70-23 |

懇談事項

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 1) 今後の予定について（高橋理事） | 資料 70-25 |
| 2) 理事会運営について（高橋理事） | 資料 70-26 |
| 3) 理事会（会議）の効率的な運用について（高橋理事） | 資料 70-27 |
| 4) 大崎順彦賞のプレス発表、覚書等について（高橋理事） | 資料 70-28 |
| 5) 事務局体制の維持について（高橋理事） | 資料 70-29 |
| 6) 年次大会の委員・会場について（年縄副会長） | 資料 70-30 |
| 7) 選挙規定の見直しについて（年縄副会長・役員候補推薦委員長） | 資料 70-31 |
| 8) 地震工学 20 年の歩みについて（高田会長） | （欠番）資料 70-32 |

E.議事録：

議題

- 1) 役員の自己紹介（全員）
 - ・資料 70-01 に基づき、役員および事務局が自己紹介を行った。
- 2) 今年度理事会体制と役員の分掌、関係する外部委員会について（高橋理事）
 - ・高橋理事より、資料 70-02 に基づいて、今年度理事会体制と役員の分掌、および関係する外部委員会の説明がなされた。
 - ・防災学術連携体 防災連携委員会 防災連携委員（日本学術会議）は渡邊理事と吉見理事の二人体制を続けることを確認した。
 - ・地震学会 強震動委員会 連絡委員（大堀副会長）は、業務がほとんどないことから削除することが確認された。
- 3) 今年度の理事会の進め方および年間予定（高橋理事）
 - ・高橋理事より資料 70-03 に基づいて、今年度の理事会の進め方および年間予定の説明がなされた。
 - ・次回以降の理事会も、対面とオンラインのハイブリッド形式を継続することを確認した。
 - ・高田会長から、理事会へはできるだけ対面での参加をお願いしたいとの要望が出された。

報告事項

- 1) 第 69 回理事会議事録（案）の確認（高橋理事）
 - ・高橋理事より、資料 70-04 に基づいて、第 69 回理事会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
- 2) 第 12 回社員総会議事録（案）確認（高橋理事）
 - ・高橋理事より、資料 70-05 に基づいて、第 12 回社員総会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
- 3) 臨時理事会議事録（案）確認（高橋理事）
 - ・高橋理事より、資料 70-06 に基づいて、第 12 回社員総会の間に実施した臨時理事会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された（資料 70-06 の出席者について、吉見理事を出席者に修正する）。
- 4) 令和 6 年度事業計画（高橋理事）
 - ・高橋理事より、資料 70-07 に基づいて、令和 6 年度事業計画の説明がなされた（社員総会で承認された内容の報告）。
 - ・高田会長より、IAEE 事務局支援委員会について内容の質問があり、IAEE 事務局への経済支援（30

- 万円)などを行っていることが確認された。
- ・高田会長より、調査研究委員会の充実としてトップダウン提案や能登半島地震関連などを検討するよう指示があった。
- 5) 令和6年度予算(前川理事)
- ・前川理事より、資料 70-08 に基づいて、令和6年度予算および部会委員会別の会計報告の報告がなされた。
 - ・吉見理事より、次期繰越金(令和7年)が大幅に減少しているが、持続可能な財政となっているかについて質問があり、例年の収支は約-300万円(昨年はJEES開催による増収のため、約-100万円)となっており、厳しい状況が確認された。会費収入や事業収入を増加させる方法に関して、今後の要検討事項とすることが確認された。
- 6) 会務報告(高橋理事)
- ・高橋理事より、資料 70-09 に基づいて、総務部会からの報告がなされた。
 - ・高橋理事より毎理事会で会務報告に漏れがないかを確認している旨の説明がなされた。
- 7) 会計報告(前川理事)
- ・前川理事より、資料 70-08 に基づいて令和6年度予算の進捗率が報告された。
 - ・インボイス制度により、年次大会の展示出展・参加費収入などに対して消費税納入が発生することが説明された。
- 8) 総務部会からの報告(高橋理事)
- ・高橋理事より、資料 70-11 に基づいて、総務部会からの報告(小林前総務理事からの申し送り事項の説明)がなされた。
 - ・現状の積立金(特別事業積立金:755万円、地震災害調査積立金:139万円、運営積立金:40万円、6学会地震災害調査等積立金:R5年度:350万円→R6年度:250万円、JEES:約922万円)を有効に活用していく方向が確認された
- 9) 広報部会からの報告(隈本理事)
- ・隈本理事より、会誌7月号(能登半島地震関連)に関して通常のプレスリリース(国交省、文科省、気象庁の記者クラブ)のほかに石川県の記者クラブに会誌15部を送付することが提案され、承認された。
- 10) 情報コミュニケーション委員会からの報告(上田遼理事)
- ・上田遼理事より、資料 70-13 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動(メールニュース、ニュースレター)について報告がなされた。
 - ・メール配信のHTML化に関して、内部システムのメール改修ではなく、外部サービス(初期費用:1~5万円+数千円/月のサービス費)の利用が提案され、承認された。
 - ・高田会長より、AI翻訳を使ったコンテンツの英語化の要望が出され、これに対して上田遼理事より委員会で対応する旨の発言がなされた。
 - ・高橋理事より、メールニュースの内容について原稿の段階で、各担当理事が内容を確認して欲しいとの要望が出された。
- 11) 会誌編集委員会からの報告(皆川理事)
- ・皆川理事より、資料 70-14 に基づいて、会誌編集委員会の活動について報告がなされた。
 - ・皆川理事より、会誌 No.53 の企画案の説明がなされ、特集およびWCEEの紹介記事の執筆者の推薦の協力が求められた。
 - ・渡邊理事より、会誌の内容で講習会を企画することが提案され、今年度にも実施できるように検討することが確認された。

12) 国際委員会（阿部理事）

- ・阿部理事より、資料 70-15 に基づいて、国際委員会の活動について報告がなされた。
- ・高田会長より、18WCEE の食事会について内容確定と参加者への連絡の要望が出され、事務局で JTB と調整することが確認された。

13) 地震災害対応委員会からの報告（吉見理事）

- ・吉見理事より、資料 70-16 に基づいて、地震災害対応委員会の活動について報告がなされた。
- ・今後、前任の阿部理事と引継ぎ作業を実施し、高田会長の要望を確認しながら活動内容を決めたことの意味が示された。

14) 論文集編集委員会からの報告（向井理事）

- ・向井理事より、資料 70-17 に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。
- ・向井理事より、特集号「免震・制振」への「寄稿」2 編について、論文集編集委員長より投稿の依頼を行ったとの説明があった。論文集投稿規程第 10 条に則り、掲載料は無料とすることが確認された。

15) 事業企画委員会（企画）からの報告（高瀬理事の代理：上田恭平理事）

- ・上田恭平理事より、資料 70-18 に基づいて、事業企画委員会（企画）の活動について報告がなされた。
- ・上田恭平理事より、横浜サイエンスフロンティア高校の出前講義について、前年度は希望者のみであったが、評価が高いことから今年度は学年全体で行うことになったとの説明がなされた。
- ・高橋理事より、企画の実施状況の紹介や学会の PR に使える写真や動画コンテンツの提供が要望された。

16) 2024 年度大会に関する報告（中嶋理事）

- ・中嶋理事より、前回の委員会資料（後日、資料 70-19 として NAS に保存）に基づいて、2024 年度大会の準備状況が報告され、新委員（IC 担当）として島根大学の小松真吾先生が新たに加わることを承認された。

17) 将来構想委員会からの報告（大堀福会長）

- ・大堀副会長より、資料 70-20 に基づいて将来構想委員会の活動内容について報告がなされた。
- ・大堀副会長より、将来構想委員会からの提言内容を（区切りは決めないが）各委員会を実施していくことの協力が要請された。
- ・高田会長より、財務状況に関する提言が含まれているかの確認があり、会員確保と事業収入の改善が盛り込まれていることが確認された。

18) 志賀原子力発電所における強震データの頒布について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 70-21 に基づいて、強震データの頒布についての結果報告がなされた。
- ・高橋理事より、海外への販売は輸出規制があるため個別の対応で進めることの説明がなされた。
- ・戸田事務局長より、英語版の CD-ROM は北陸電力様で作成中であることの説明がされた。英語版の価格については現時点で未発表であるため、日本語版の価格の 2 倍とすることが確認された。

議案

第 1 号 入退会者（本多理事）

- ・本多理事より、資料 70-22-1～4 に基づいて、入退会者の報告がなされ、承認された。

第 2 号 委員会委員の委嘱（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 70-23 に基づいて、令和 6 年度日本地震工学会委員会の委員委嘱について説明がなされ、承認された。（資料 70-23 について、日本地震工学会大会実行委員会の新委員（IC

委員会から一名参加予定)は島根大学の小松真吾先生が就任する情報を追加する)。

第3号 共催・後援・協賛等(本多理事)

- ・本多理事より、資料 70-24 に示された後援 2 件、協賛 1 件について説明がなされ、承認された。

懇談事項

1) 今後の予定について(高橋理事)

- ・高橋理事より、資料 70-25 に基づいて、今後の予定について説明がなされた。
- ・高橋理事より、年次大会、選挙日程などについて確認された、

2) 理事会運営について(高橋理事)

- ・高橋理事より、資料 70-26 に基づいて、理事会当日の前後 2 週間の作業内容の説明がなされた。

3) 理事会(会議)の効率的な運用について(高橋理事)

- ・高橋理事より、資料 70-27 に基づいて、理事会の効率的運営方法の提案がなされた。
- ・高田会長より、複数の委員会を跨ぐ内容については、理事会前に関係者で情報共有や方針検討を行っていただき、効率化を図りたいとの要望が出された。

4) 大崎順彦賞のプレス発表、覚書等について(高橋理事)

- ・高橋理事より、資料 70-28-1~6 に基づいて大崎順彦賞のプレス発表、チラシ、覚書等について説明がなされた。
- ・高橋理事より、初年度の選考過程にかかる日数が読めないため、1 か月前倒しで行うことが提案され、了承された。今後のスケジュール(やるべきこと)として応募書式の作成、表彰規定・細則の改定を行うことが確認された。
- ・高橋理事より、記念講演を実施するのかについての問いかけがあり、実施する方向で進めることになった。
- ・プレスリリース案の応募資格の内容が分かりづらいので、資料 70-28-6 の募集要項に統一することが確認された。
- ・高田会長より、プレスリリースの連絡先に原子力学会を追加すること、会長と佐藤社長(大崎総研)の写真を撮り、ホームページに掲載することが提案され、その方向で進めることになった。
- ・大崎総研との覚書きでは、受賞者を 4 月に決定、5 月に大崎総研より入金、受賞者に 6 月に支払う予定であることが説明された。
- ・中村副会長より、副賞に記念品(例えば、メダル)が含まれるのかの質問があり、副賞として賞金と記念品の方向で進めることが確認された。

5) 事務局体制の維持について(高橋理事)

- ・高橋理事より、資料 70-29 に基づいて、新事務局長の採用活動の状況の説明がなされた。
- ・高橋理事より、当学会の給与面の待遇が、他学会と比べてやや見劣りしていること、労働裁量で残業代が支払われないことも見劣りする原因になっていると説明がなされた。
- ・吉見理事より、現状の財務状況を考慮すると支出が難しいので、業務内容を抜本的に削減することが提案され、その方向で検討を進めることが確認された。

6) 年次大会の委員・会場について(年縄副会長)

- ・年縄副会長より、現状の問題点として委員長を決め、開催地を決めるスケジュールとなっており、行当たりばったりになっていると説明がなされた。開催地を①4年に一度の JEES、②関東、③関西、④関東・関西以外、の持ち回りとし、開催地の決定後に委員長を決める提案がなされ、その方向で進めることが確認された。。
- ・中嶋理事より、後任の委員長として 2025 年丸川先生、2026 年 JEES(大会開催なし)、2027 年後藤先生で内諾をもらっていることの説明がなされた。

7) 選挙規定の見直しについて（年縄副会長・役員候補推薦委員長）

- ・年縄副会長より、役員候補推薦委員会の規定「役員候補推薦委員会は、会長候補者の選挙については2名以上、監事候補者の選挙については改選監事の数に1名を加えた以上の数の候補者を選考する。」を「選挙が成立するための人数以上」に変更することの提案がなされた。
- ・公益社団法人として選挙を必ずしも行う必要がないことが確認され、役員候補推薦委員会の規定を変更する方針で検討を進めることが確認された。

8) 地震工学 20 年の歩みについて（高田会長）

- ・高田会長より、2004 年の WCEE（バンクーバー）にて State of art volume の CDROM を配布したことが大変好評であったとの報告があった。それから 20 年が経ち、この CDROM の内容と比較して、最先端の研究の歩みを取りまとめる企画、座談会の実施、特集号の発刊により、20 年間の変遷を概観して、地震工学の領域を整理してはどうかとの提案がなされた。

上記の通り出席した業務執行理事より業務報告がなされた。

次回予定：（第 71 回理事会）：8 月 1 日（木）16-19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 高田 毅 士

監事 永野 正 行

監事 室野 剛 隆